



宮崎…政治さんの浜名湾游泳協会への思いも並大抵のものではありませんでした。当時、静岡県には西部・東部・中部と3地区に協会があったのですが、日本水泳連盟の意向により、県に水泳連盟をおいてそこに集約するという動きがありました。浜名湾游泳協会の役員が政治さんに相談に行ったところ、開口一番「おまえらは『浜名湾』をつぶすか！」と怒鳴ったそうです。吸収合併され、浜名湾游泳協会がなくなると思われたのです。結局、加入しても浜名湾が残るならいと納得していただきました。浜名湾游泳協会をどうしても守りたかったのです。

新聞記者でありながら毎週のように浜松に来ては、夜行で帰るほどでした。よほど浜松に対する思い入れが強かったのでしょう。父はとにかく富士山が好きでした。なぜ好きなのかと聞いていましたが、東京からみると富士山の向こうに浜松がある。富士山を見ながら浜松に思いを馳せていたのではないかと思います。父が永眠している川崎市のお墓からは富士山が見えるのですが、これも浜松を意識して決めたのではないかと感じています。

宮崎…今では、とびうお杯はオリンピックへの登竜門とされています。政治さんが作ってくれた浜名湾游泳協会の事業として、これからも発展させていきたいと思っています。

田畑…古橋さんは父にとって特別な存在でした。そんな古橋さんを記念して造られた水泳場で、若者たちが成長し続けているのは大変うれしいことです。

市長…政治さんは、浜松で日米対抗の水泳大会を開催しています。世界一の強豪アメリカチームを浜松に招待するのは、故郷への深い愛情を感じます。また、ラジヤマのトビウオと称される古橋廣之進さんを世に送り出したのも政治さんですよ。浜松市総合水泳場T.O.B.I.O.では、「とびうお杯」という小学生対象の全国水泳大会が毎年開催されており、北島康介選手や瀬戸大也選手もこの大会からスタートしました。本市も政治さんのレガシーを引き継いでいく使命がありますから、今後も世界で活躍する選手が出ることを願っています。



宮崎…やはり日本選手団、特に水泳を願っています。

田畑…父が情熱を注いだオリンピックが東京で行われるのですから、ぜひ成功してほしいです。みんながフェアに競い合う姿を見て、スポーツの気持ち良さをたくさん感じたいですね。また、大河ドラマをきっかけにこのような機会に恵まれ、うれしく思います。今は東京に住んでいますので、浜松が少し遠い存在になりましたが、今回、浜松の元気を再確認させていただき、改めて良い街だと実感しました。今後の浜松の発展を願っています。

市長…まさに名プロテューサーですね。自分がすべて先頭というよりネットワークを駆使し、人材育成のための環境整備を行い、理想像を形作っていく政治さんを見ていました。目利き能力はありました。

田畑…浜松に関して言えば偏っていたかもしれませんが、それ以外では平衡感覚のある人でした。日本の文化は家元・直系、年功序列が重視されがちですが、父はフェアな目線で強い選手を見つけていました。目利き能力はありました。

NEWS≫ 浜松魅力発信館「The GATE HAMAMATSU」

大河ドラマ「いだてん」展リニューアル

第2部・田畑政治編がスタートし、ドラマの展開に合わせて展示を拡張し、リニューアル。ドラマ内で政治さんが活躍する水運本部やバー「ローズ」などを再現したセットも登場。政治さんが幼少期を過ごした八百庄の撮影用小道具や番組紹介パネル、出演者の等身大パネルなど見どころ満載！



DATA/浜松市中区旭町37 JR浜松駅から徒歩3分、新浜松駅北 遠州鉄道高架下 10:00~19:00 入館無料 ※レンタサイクル及びカフェ「まるいし」、外国人向けインフォメーションコーナーは営業時間が異なる場合があります。



田畑和宏さん  
田畑政治さんのご長男

鈴木康友  
浜松市長

宮崎篤さん  
浜名湾游泳協会 副会長

意外!? 浜松! 2019年大河ドラマ「いだてん」第2部放送中! HAMA流 番外編 2019年大河ドラマ「いだてん」特別対談 SPECIAL TALK

日本の水泳を世界レベルに引き上げ、アジア初のオリンピックを招致した田畑政治さんを振り返ります。  
田畑政治さんのご長男 田畑和宏さん  
浜名湾游泳協会副会長 宮崎篤さん  
浜松市長 鈴木康友

政治さんはどんな方でしたか?

鈴木康友浜松市長(以下、市長)…政治さんは浜松中学、現在の浜松北高校の卒業生であり、同窓の偉大な先輩です。水泳ニッポンの名を世界に知らしめるとともに、1964年の東京オリンピック招致と開催に尽力されました。そんな方が浜松から輩出されたのは誇りに思います。私も浜名湾游泳協会水泳を覚え、浜松北高校の伝統行事である水泳合宿などに参加していました。その源流を作ったのも政治さんでした。



田畑和宏さん

故郷・浜松、水泳への想いとは?

田畑…当時は、東京から浜松までおよそ8時間かかりましたが、父は多忙な

人でした。浜松には旧制中学までしかいませんでしたが、とにかく浜松が好きで、二言目には「浜松・浜名湖・浜名湾游泳協会」という言葉がよく出てきたのを覚えています。私もおいしい鰻を食べによく浜松へ連れていってもらいました。

宮崎篤さん(以下、宮崎)…政治さんは、とにかく怖いという印象でした。私の現役時代、浜松北高校の水泳部に激励に来られたのですが、「最近の水泳部は何をやっているんだ! 全国大会で名前を見ないじゃないか!」とお叱りを受けました。政治さんの功績はみな承知していたので、そう言われるからには頑張らなきゃと好成績を収めた者もありました。また政治さんはコーチの発掘など組織づくりに長けていました。政界とのつながりもあり、さまざまな分野で顔が広く、ノウハウを吸収しながら自分の作りたいものをうまく作り上げていくといった能力に秀でていた人だと思っています。